



2019年11月9日～2019年11月15日

2019年11月18日

先週の回顧

ブラジル・レアルは、対円、対米ドルともに下落しました。また、2年国債金利は上昇しました。

米中通商交渉に関して、トランプ米大統領が中国が合意しなければ大幅に関税を引き上げると発言したことや、米国の経済紙が中国の関係者が農産物の購入額について具体的な数値を掲げることに警戒感を抱いていると報じたことで、米中通商交渉への懸念が強まり、リスク回避の動きからブラジル・レアル安が進行しました。また、チリやボリビアで発生している政府に対する抗議によって、ラテンアメリカ市場への警戒感が高まっていることも、ブラジル・レアルの重石となりました。

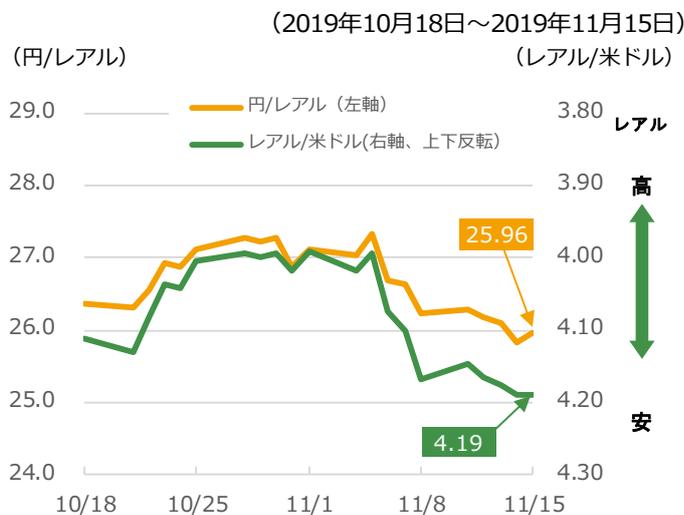
経済指標に関しては、9月の小売売上高や経済活動指数などが発表されました。小売売上高、経済活動指数ともに市場予想を上回りましたが、材料視されませんでした。

今週の見通し

今週はIPCA-15インフレ率などの経済指標の発表が予定されています。

足元のブラジル金融市場はやや軟調な展開となっていますが、米国系証券会社がファンドマネージャーに対して行った調査によれば、改革の進展や経済回復の兆候に伴ってブラジルに対する楽観的な見通しが増加しています。そのため、米中通商交渉、チリやボリビアでの騒動など外部要因が落ち着きを見せれば、ブラジルの金融市場は堅調な推移に転じるとみています。

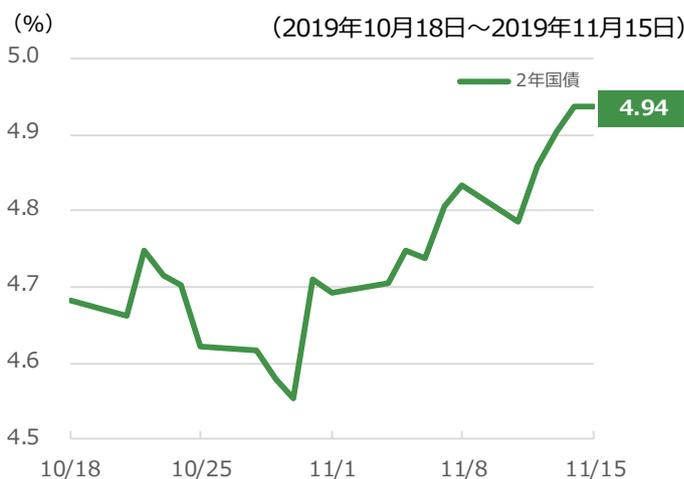
ブラジル・レアル 為替推移



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

ブラジル 金利推移



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和投資信託が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。